

2. 建築意匠計画

07. 市民利用計画

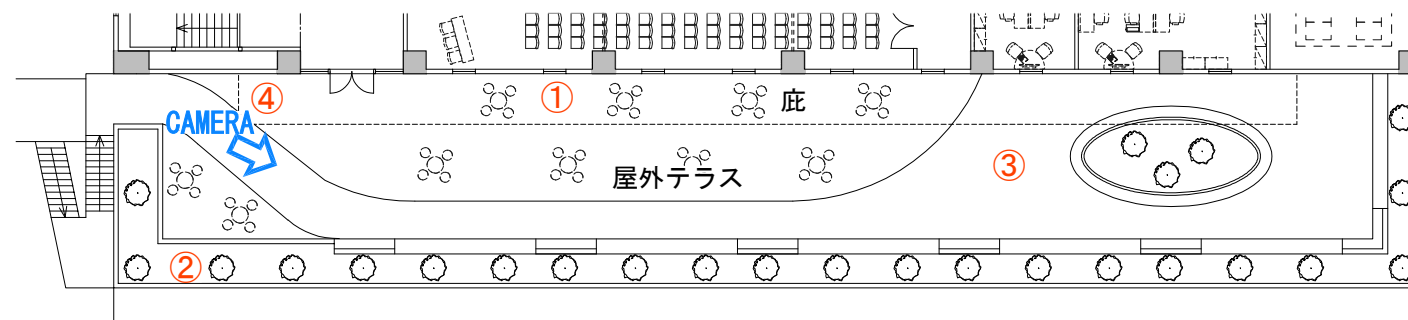
SCALE 1:300

■利用用途の想定（市民ワークショップでの意見から）

【コラボレーションラウンジ・屋外テラス・交流スペース】

- ・中高生の自習ができるもの。
- ・セミナー等ができるもの。
- ・コワーキングができるもの。
- ・屋外で仕事ができるもの。
- ・リラックスして過ごすことができるもの。
- ・ガーデン的な雰囲気なもの
- ・ストリートピアノなど音楽ができるもの。
- ・バス等公共交通の待合ができるもの。

<屋外テラス>



例示

- ① 庇の下で作業ができる空間
- ② 市民と一緒に作る花壇
- ③ 花火大会の観覧席
- ④ バスの時刻表

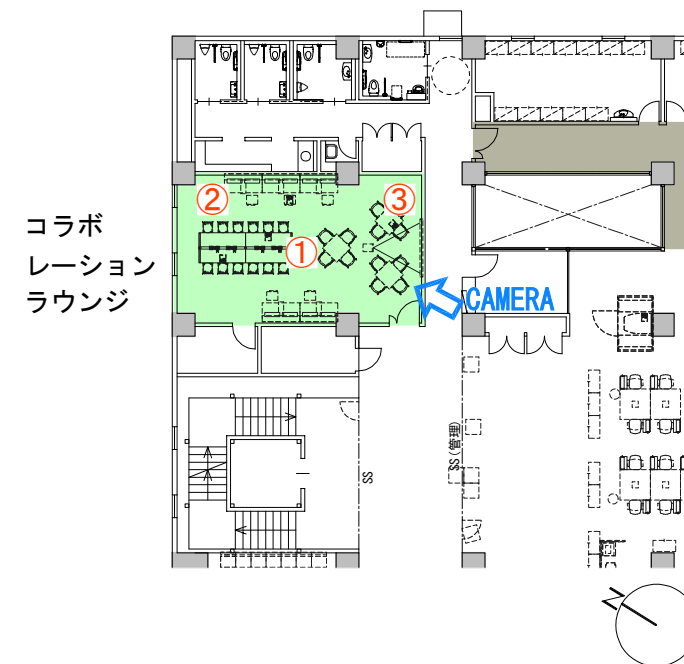


通常時イメージ



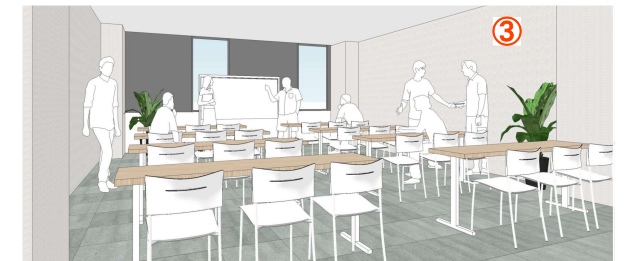
イベント時(花火大会の観覧)イメージ

<コラボレーションラウンジ>

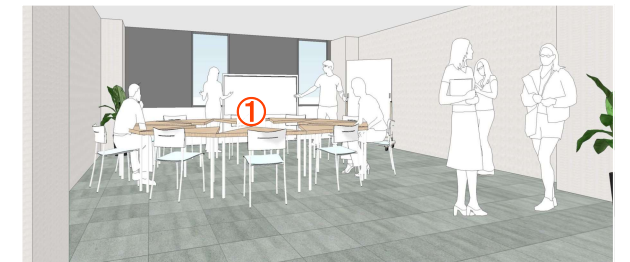


例示

- ① 使用人数や用途に合わせて柔軟に使用できる什器
- ② Wifi、コンセントの整備、オンラインでの手軽な予約
- ③ 防音仕様の壁

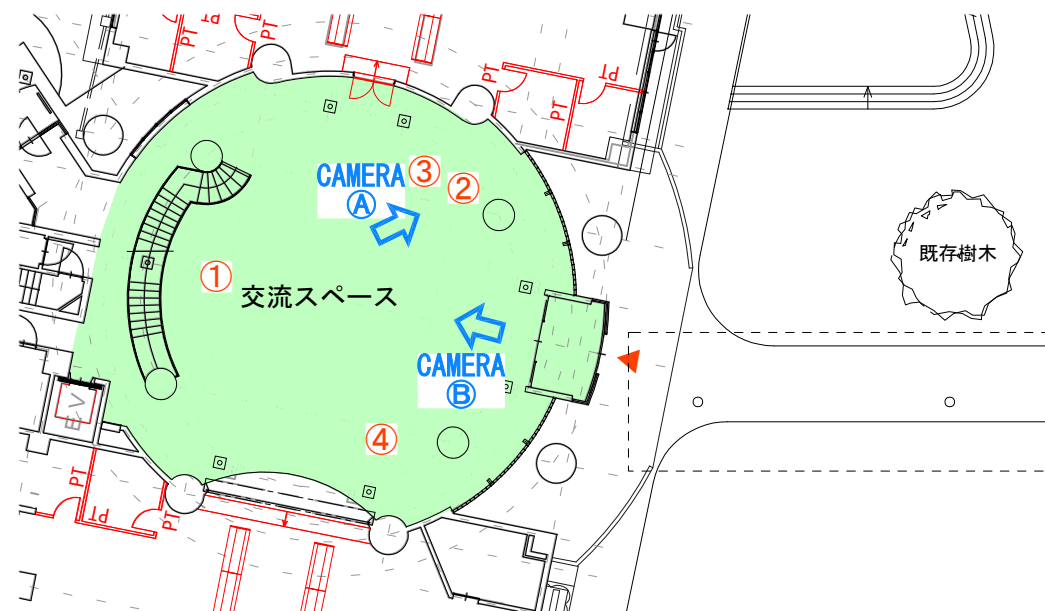


通常時イメージ



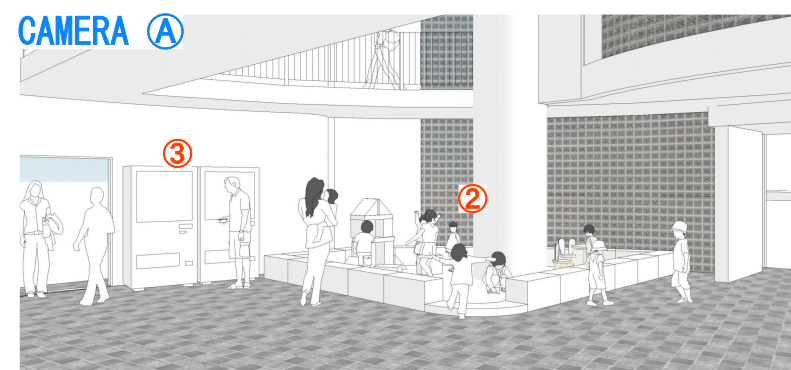
イベント時イメージ

<交流スペース>

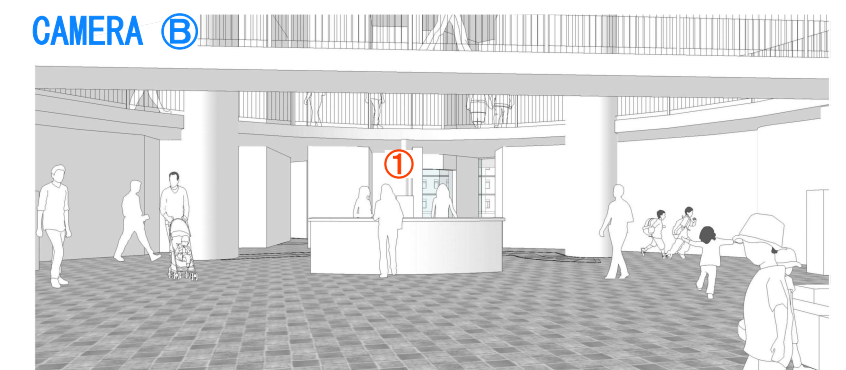


例示

- ① 地域の案内所
- ② キッズスペース
- ③ 自動販売機
- ④ ストリートピアノ



キッズスペースイメージ



地域の案内所イメージ

2. 建築意匠計画

SCALE 1:600

08. 災害対策計画

■基本的な考え方

次に掲げることにより留意し災害対策を計画する。

- ・地震や水害など想定されるリスクに災害対策や復旧活動が柔軟に対応できる機能、性能、設備、配置とすること。
- ・視認性や快適性、安全性、兼ね備えた経済的で無駄のないものとする。

■耐震対策

- ・構造計画

①重要度係数1.5（通常の1.5倍の耐震性能）で計画する。

- ・サーバー室

②床免振システムを導入する。

- ・その他

③構造体以外の二次部材や設備機器の耐震性を確保する。

③什器等の転倒防止対策等を施す。

■災害を想定した安全対策の実施

- ・浸水対策

④防災対策会議室

会議室（防災）は災害発生後、速やかに災害対策本部として機能できる設備を設ける。
防災広場（来庁者駐車場）を一望できる位置に配置する。

⑤1階

千年に一度の洪水・浸水に対応する1階地盤レベルのかさ上げ及び脱着式の止水板、樹脂製止水プレートを設置する。

⑥3階・屋上

サーバー室を3階に配置する。

非常用自家発電設備等の重要機器を屋上に配置する。

- ・素材

⑦災害利用を想定した家具（ソファベッド）や汚れに強い素材を選定する。

- ・仮設トイレ

⑧災害時用マンホールトイレを整備する。

■事業継続対策

- ・電気

⑨非常用自家発電は3日分の容量とする。

⑫バックアップシステムとして太陽光発電パネルを設置する。

- ・水道

⑨受水槽は4日分の容量とする。

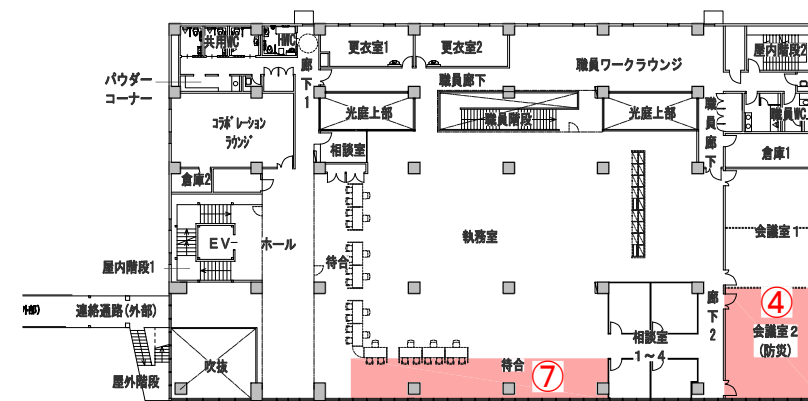
- ・下水

⑩災害時における庁舎内トイレの利用として、ピット部に汚水貯留槽を設ける。
7日間分の容量とする。

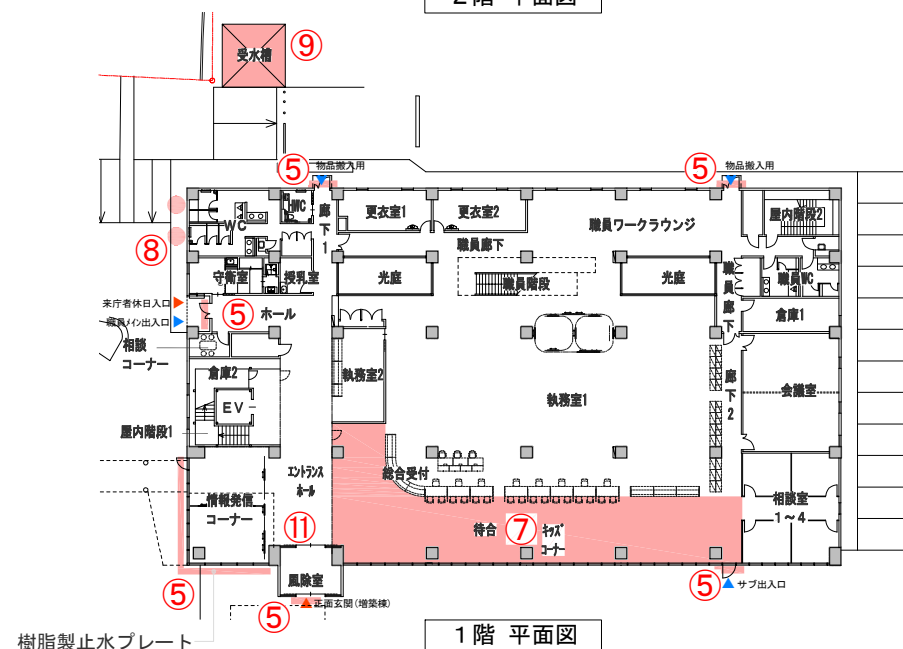
- ・感染症対策

⑪リモート会議にも対応できる個別ブース（スペース）を設置する。

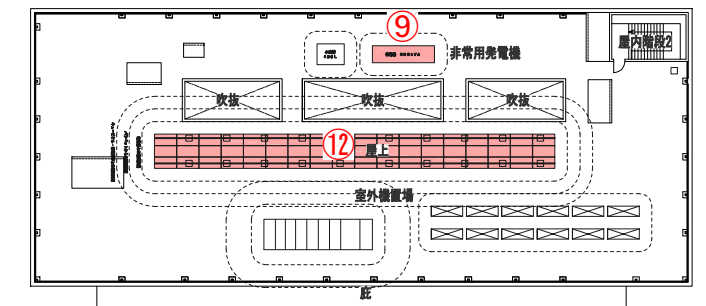
⑪庁舎出入口に自動検温システムを設置する。



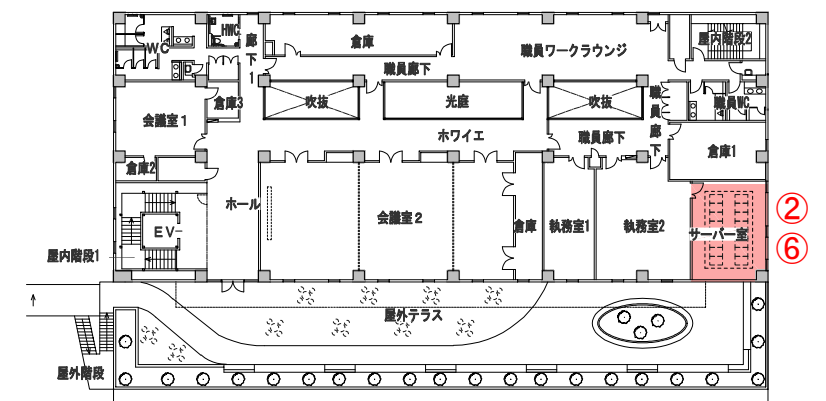
2階 平面図



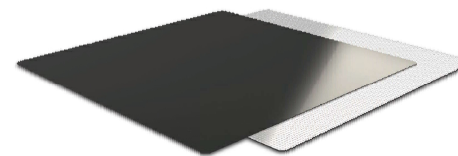
1階 平面図



屋上 平面図



3階 平面図



②床免震



⑤樹脂製止水プレート



⑨止水板



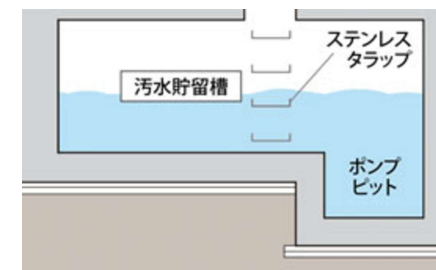
⑧マンホールトイレ



⑨非常用自家発電



⑨受水槽



⑩汚水貯留槽



⑫太陽光発電パネル

2. 建築意匠計画

SCALE 1:600

10. ユニバーサルデザイン計画

■基本的な考え方

次に掲げることに留意しユニバーサルデザインを計画する。

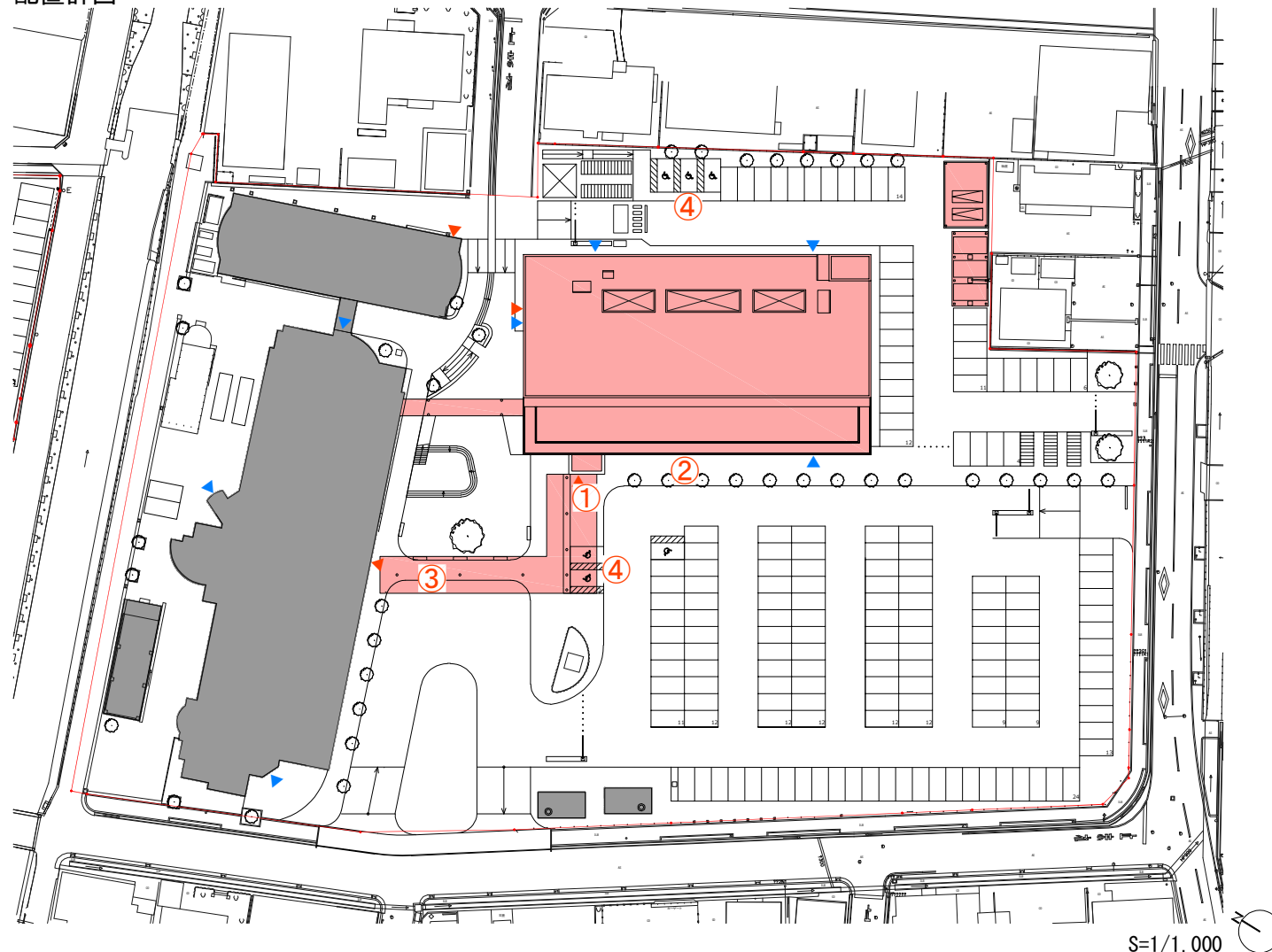
・誰もが使いやすいユニバーサルデザインの考えによるものとする。

- ①正面玄関：間口を広く確保する。玄関の扉を自動ドアとする。
- ②道路からの駐車場への出入口： 出入り口は、車椅子利用者や体の不自由な方が容易に出入りできるよう、可能な限り勾配をゆるくした（1%以下）計画とする。
- ③車寄せ：庇を設け、雨に濡れずに建物内に入ることのできる計画とする。
- ④車椅子使用者用駐車場施設：高齢者など、歩行が艱難な方が優先的に利用できるものとし、計6台計画とする。
来庁者：3台 職員：3台（体調管理が必要な職員等）
- ⑤エントランスホール：市民の動線を意識した窓口や階段・EVなどの施設の視認性が高い空間とする。
- ⑥窓口：車椅子利用者にも配慮した計画とする。（各階共通）

- ⑦階段・エレベーター：階段とエレベーター（階段等）は一体的なものとする。
階段等は、エントランスホールから視認しやすい位置に配置する。
＜階段＞バリアフリーに配慮したものとする。
＜エレベーター＞扉開口部に非接触型のセンサーを設ける。
車椅子（子ども）用の操作盤を設ける。
操作盤には点字文字を併記する。音声案内を設ける。手摺を設ける。
緊急搬送時にはストレッチャー対応が可能なものとする。
- ⑧待合・キッズコーナー：窓に面した位置に配置する。
明るく開放的で圧迫感の少ない空間とする。
- ⑨相談室：間口は、車椅子利用者が容易に入退室可能なものとする。
エントランスホールを通らずに相談室に入ることができる動線とする。
- ⑩授乳室：子供連れの来庁者が安心して利用できるものとする。
1階の水回りに近い位置に配置する。

- ⑪トイレ（市民利用）
＜1階＞男性用、女性用及び多機能用にトイレを分け配置する。
それぞれ1か所にベビーチェア及び手摺を設置する。
多機能トイレにはオストメイトトイレを設置する。
＜2階＞ LGBTQの利用者を考慮した供用トイレ（1か所は多機能のもの）を配置する。パウダールームを併設する。多機能トイレには、ユニバーサルシート（介護ベッド）を設置する。
＜3階＞男性用、女性用及び多機能用にトイレを分け配置する。
それぞれ1か所にベビーチェア及び手摺を設置する。
多機能用トイレにはベビーベッドを設置する。

配置計画



③雨に濡れない車椅子使用者用駐車場施設



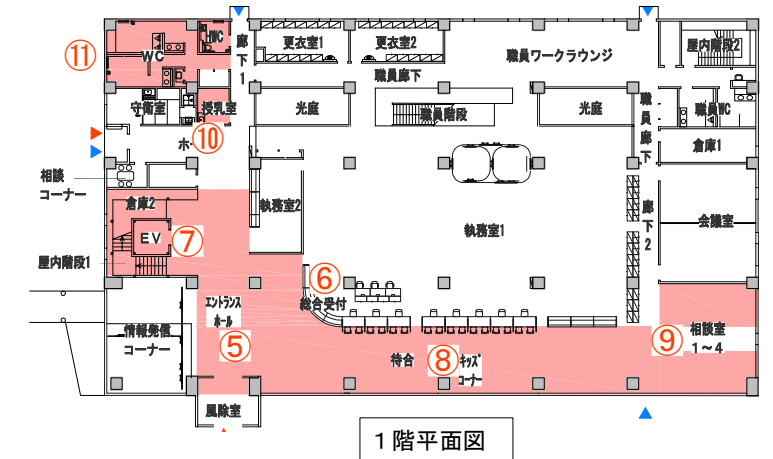
⑧窓に面した開放的な待合



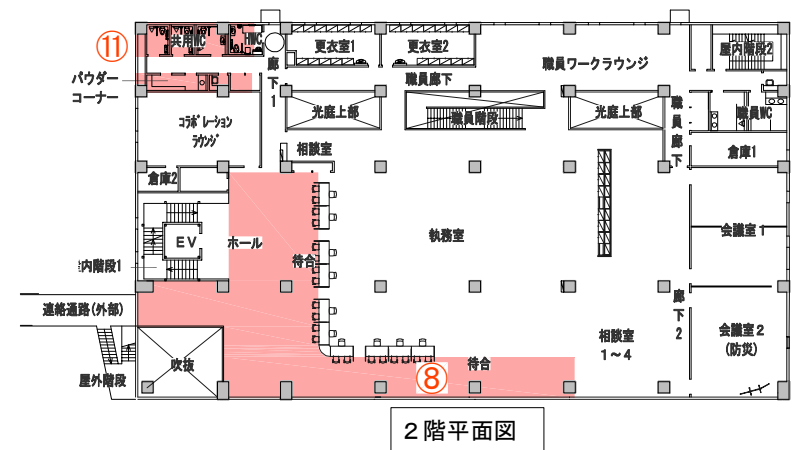
⑩安心して利用できる授乳室



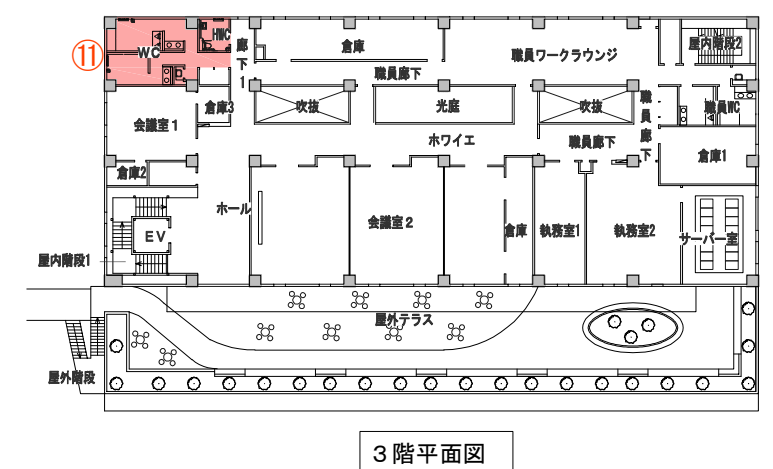
⑪多機能トイレ



1階平面図



2階平面図



3階平面図

2. 建築意匠計画

1 1. サイン計画

■基本的な考え方

次に掲げることに留意しサインを計画する。

- ・誰もが使いやすいユニバーサルサインの考えによるものとする（誰もが認知しやすい、目的の場所に誘導されやすい、材料の色彩など）。
- ・高度情報化やレイアウト変更、将来の情報更新に柔軟に対応可能なものであること。

■ユニバーサルデザインに配慮した読みやすい書体

- ・庁舎全体のサイン形状・記号・書体・色彩は統一する。
- ・書体は、混同しがちな文字の形の違いをはっきりさせた誰にでもわかりやすい「UDフォント」とする。
- ・サインに標記する言語は、様々な外国人に配慮したわかりやすい言語対応とする。
- ・サインに、国際化に対応した表示として直観的にわかりやすいピクトグラム（絵文字）を併用する。
- ・最新の映像技術を活用したデジタルサインを導入する。
- ・視覚障がい者が認識しやすいよう、色による区分と文字・数字・点字を併用するデザインとする。（そのほか、筆談ツールや指差しボード等の導入を検討）

■和文書体

ヒラギノUD角ゴシックW5

■和文書体

ヒラギノUD角ゴシック W5

■欧文書体

ヒラギノUD角ゴシックW5

■欧文書体

ヒラギノUD角ゴシック W5

現在地

京丹後市

エレベーター

あいうえお
かきくけこ
さしすせそ
たちつてと

マミムメモ
ヤユヨ
ラリルレロ
ワラン

01234567890

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

PQRSTUVWXYZ

UDフォント



デジタルサイン



筆談ツール



指差しボード



ピクトサイン

■京丹後らしい魅力あふれるデザイン

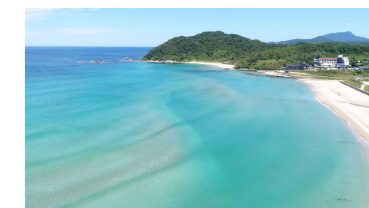
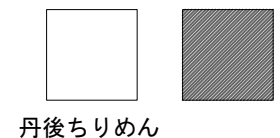
- ・京丹後らしく慣れ親しんだものをモチーフにサインをデザインする。
- ・カラースキームは、京丹後の自然や伝統文化・工芸などとリンクさせる。
- ・サインは、素材に地産材等を用い、温かみのあるものとする。

＜京丹後らしさ＞

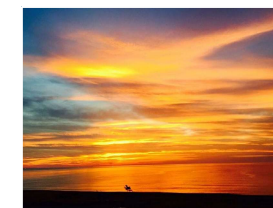


丹後ちりめん

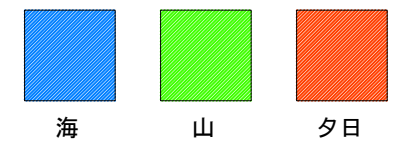
＜カラースキームイメージ＞



山並み



夕日



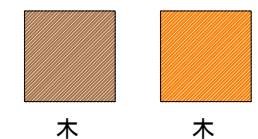
海

山

夕日



地域材を使った温かみのあるデザイン

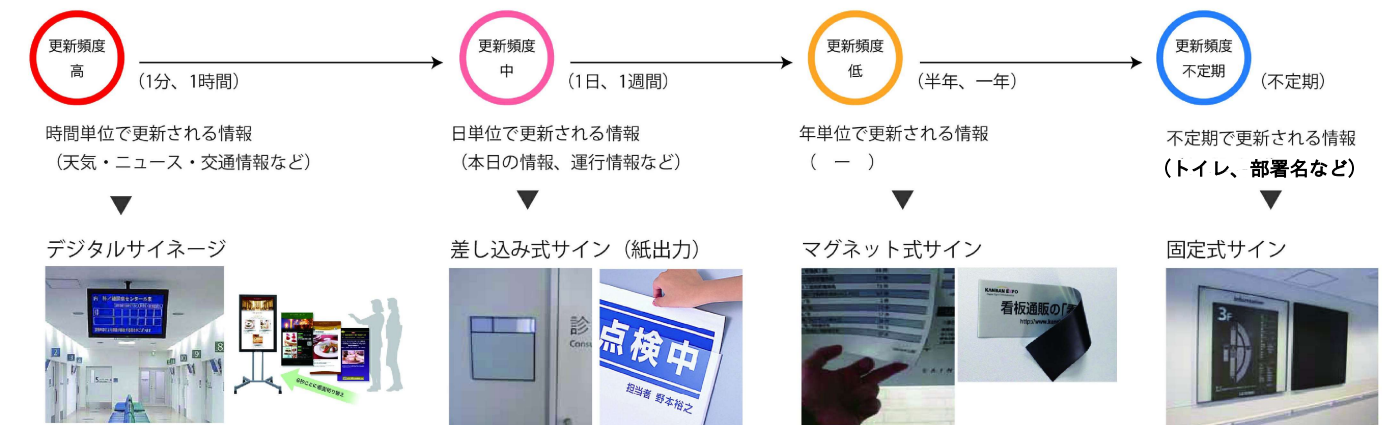


木

木

■管理・運営に配慮したメンテナンス性の高いサインデザイン

- ・情報の更新頻度を考慮してサインの素材やデザインを計画する。
- ・簡易なものは職員のみで更新できるような設えとする。



更新頻度に合わせてデザイン

2. 建築意匠計画

SCALE 1:700

1 2. セキュリティ計画

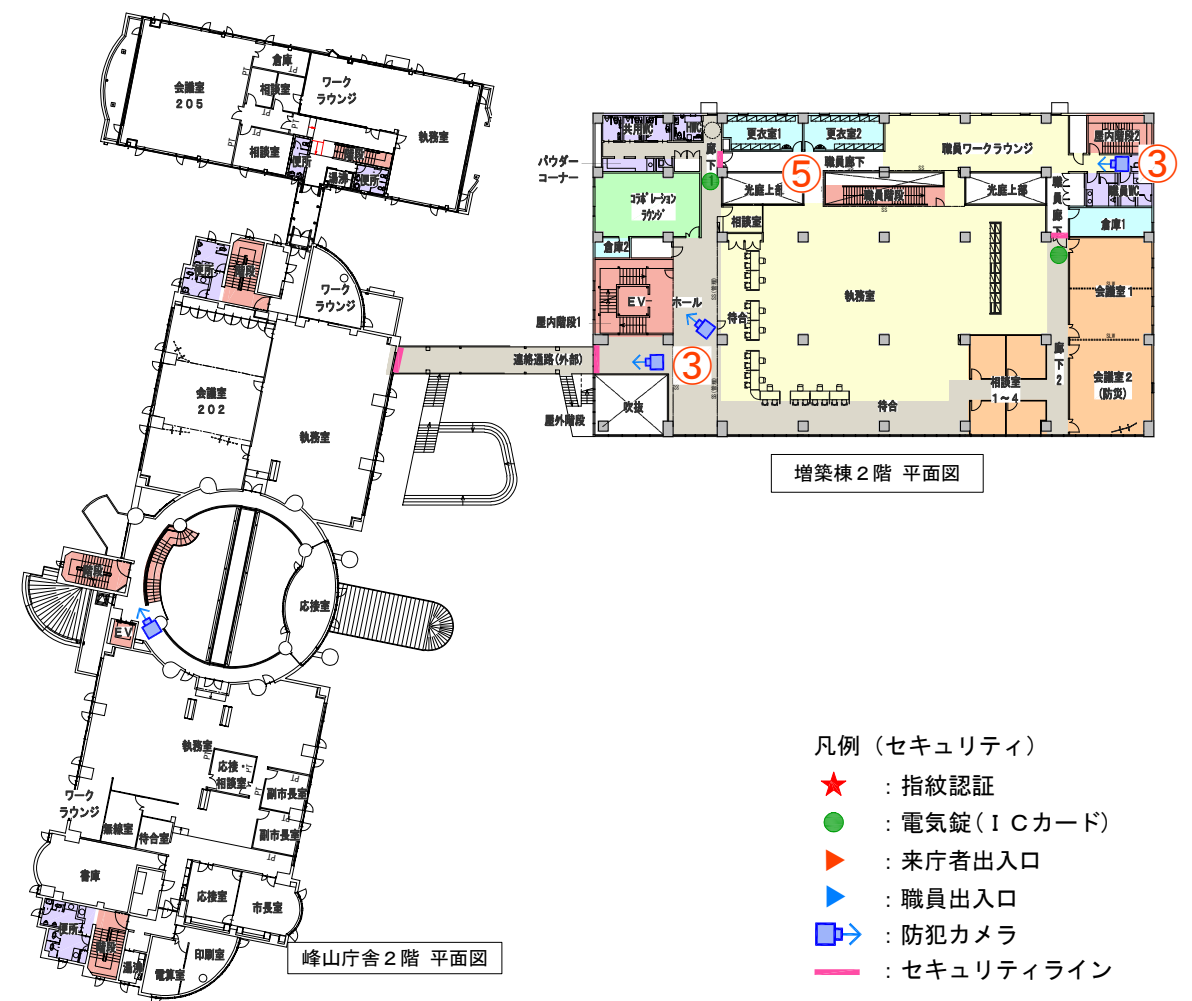
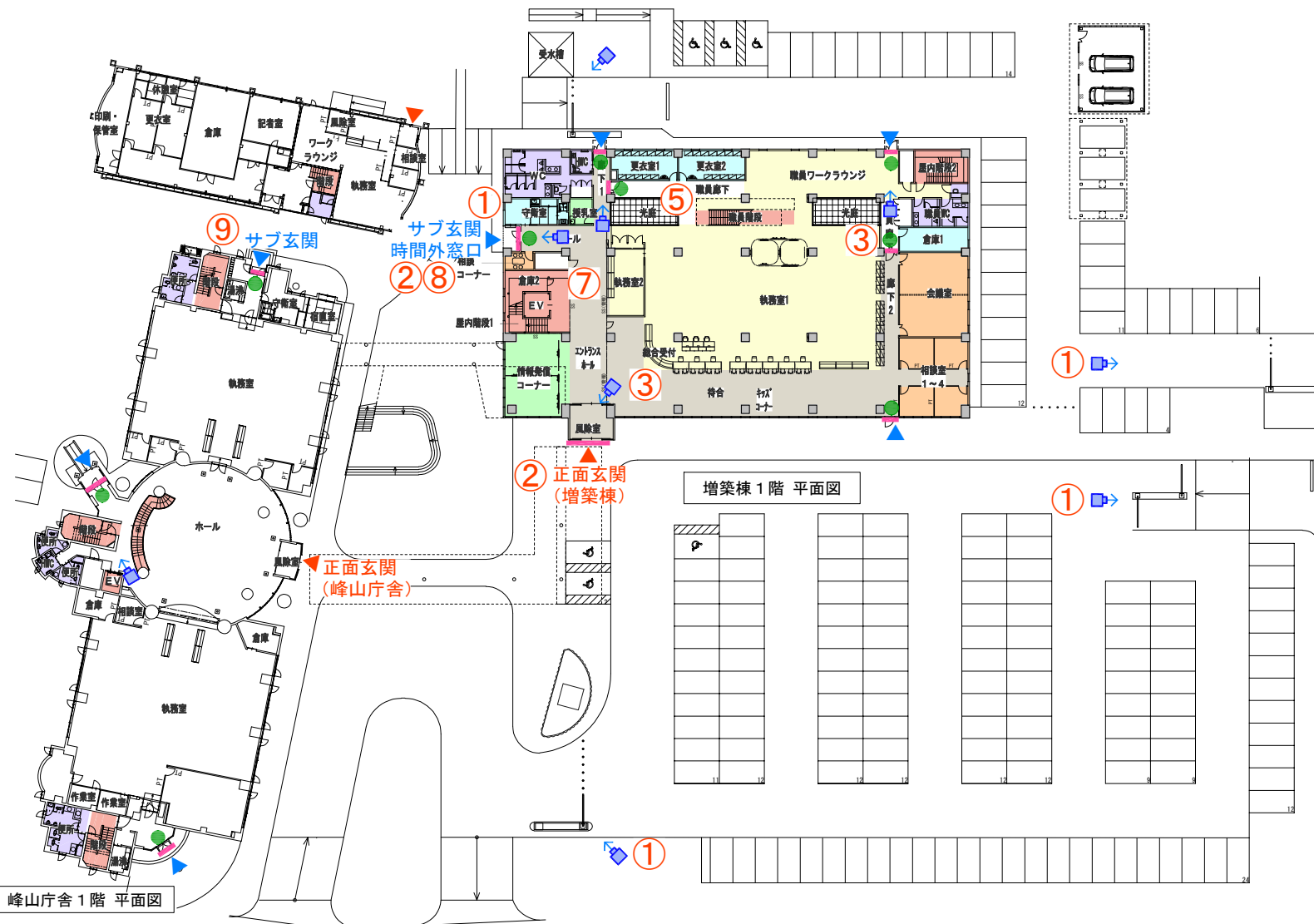
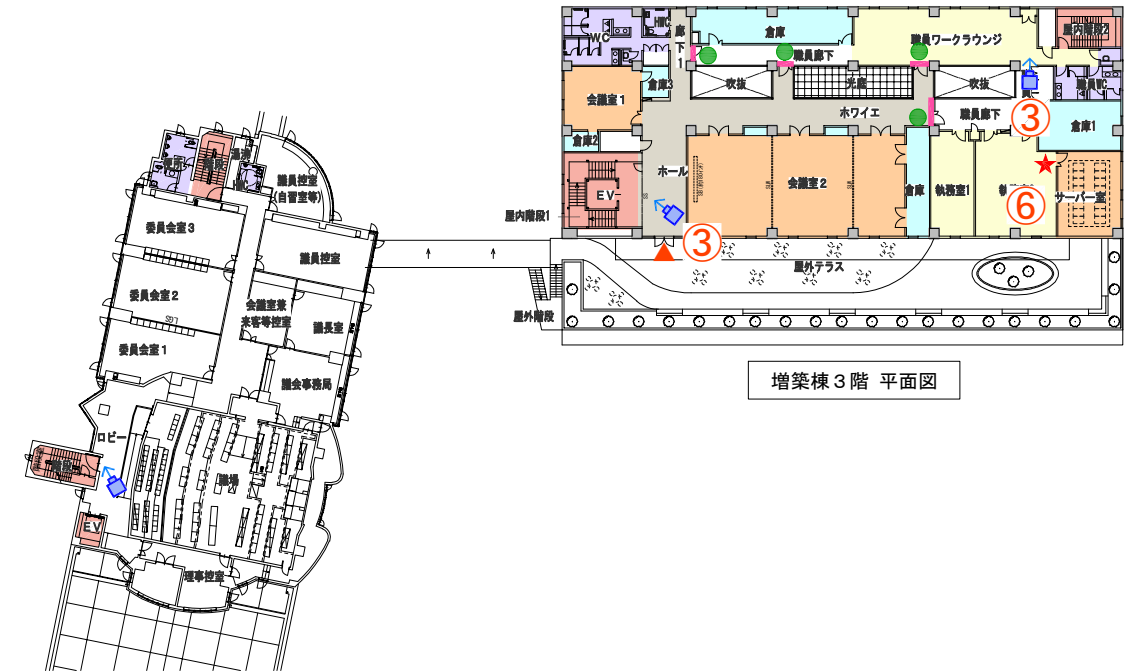
■基本的な考え方

次に掲げることに留意しセキュリティを計画する。

- ・市民エリアと職員エリアを明確に分けたゾーニングとすること。

■外部・内部のセキュリティ

- ①敷地出入口には監視カメラを設置し、守衛室での一括管理する。
- ②正面玄関と夜間・休日出入口（職員通用口）により来庁者と職員の動線を明確に分ける。
- ③監視カメラを1階の各出入口部、2・3階のEV、階段部分に設置する。
- ④増築棟の平面ゾーニングは、市民エリアと職員エリアを明確に分け、セキュリティが確保しやすい計画とする。
職員エリア出入口は、電気錠（ICカード）で管理する（外部者が容易に入れないもの）。
- ⑤更衣室は施錠管理とする。
- ⑥サーバー室は指紋認証とする。
- ⑦会計課は施錠管理とする。
- ⑧増築棟の夜間来庁者の出入りは、夜間・休日出入口（職員通用口）とする。（時間外の届出などの受付は守衛室の宿直の対応を想定）
- ⑨峰山庁舎の職員は、1階東側サブ玄関より出入りし、セキュリティは電気錠（ICカード）とする。なお峰山庁舎の職員最終出入口は1階東側サブ玄関となる（宿直は不在）



凡例（セキュリティ）

- ★：指紋認証
- ：電気錠（ICカード）
- ▲：来庁者出入口
- ▲：職員出入口
- ：防犯カメラ
- ：セキュリティライン

2. 建築意匠計画

SCALE 1:700

1 2. セキュリティ計画

■閉庁時（休日）の対応

・庁舎増築棟

職員は、夜間・休日出入口（職員通用口）から出入りする。

電気錠（ICカード）とする。

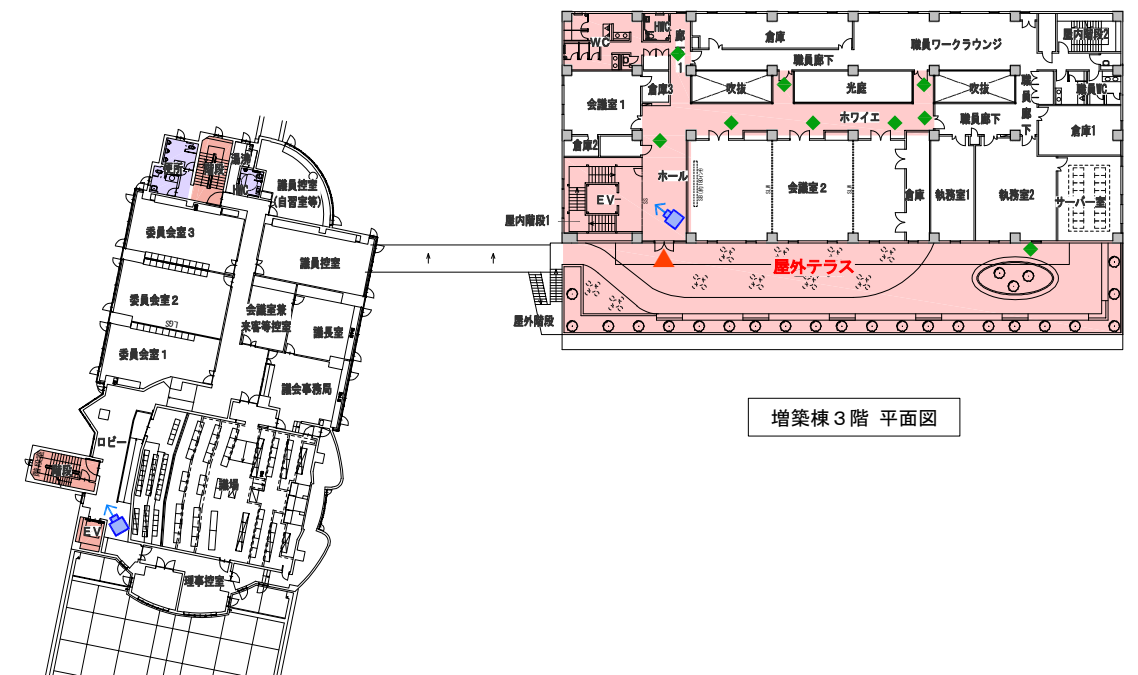
・正面玄関

来庁者は、1階正面玄関から出入りする。（市民開放ゾーンの利用）

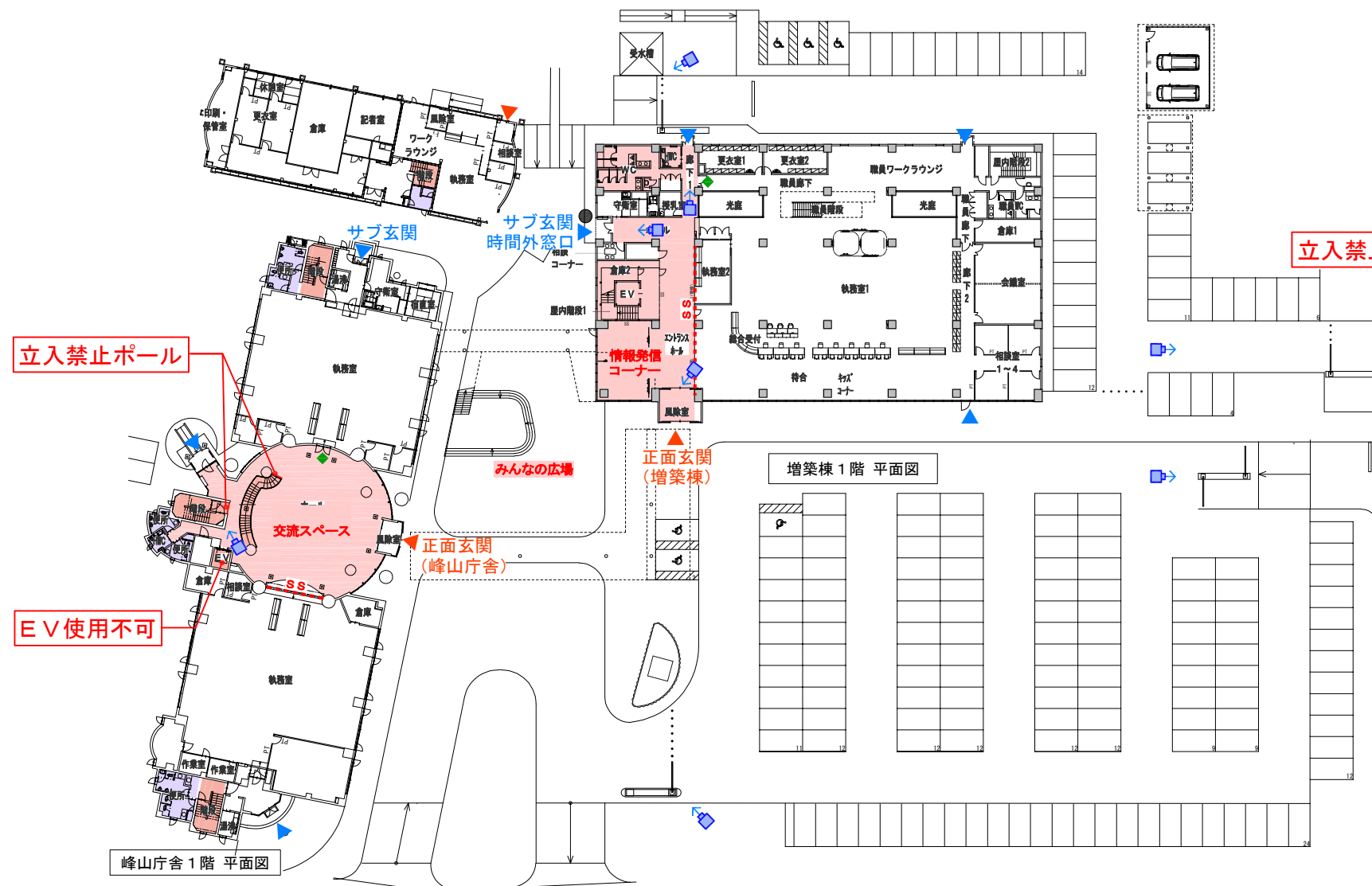
・峰山庁舎

来庁者は、1階正面玄関から出入りする（交流スペースの利用）

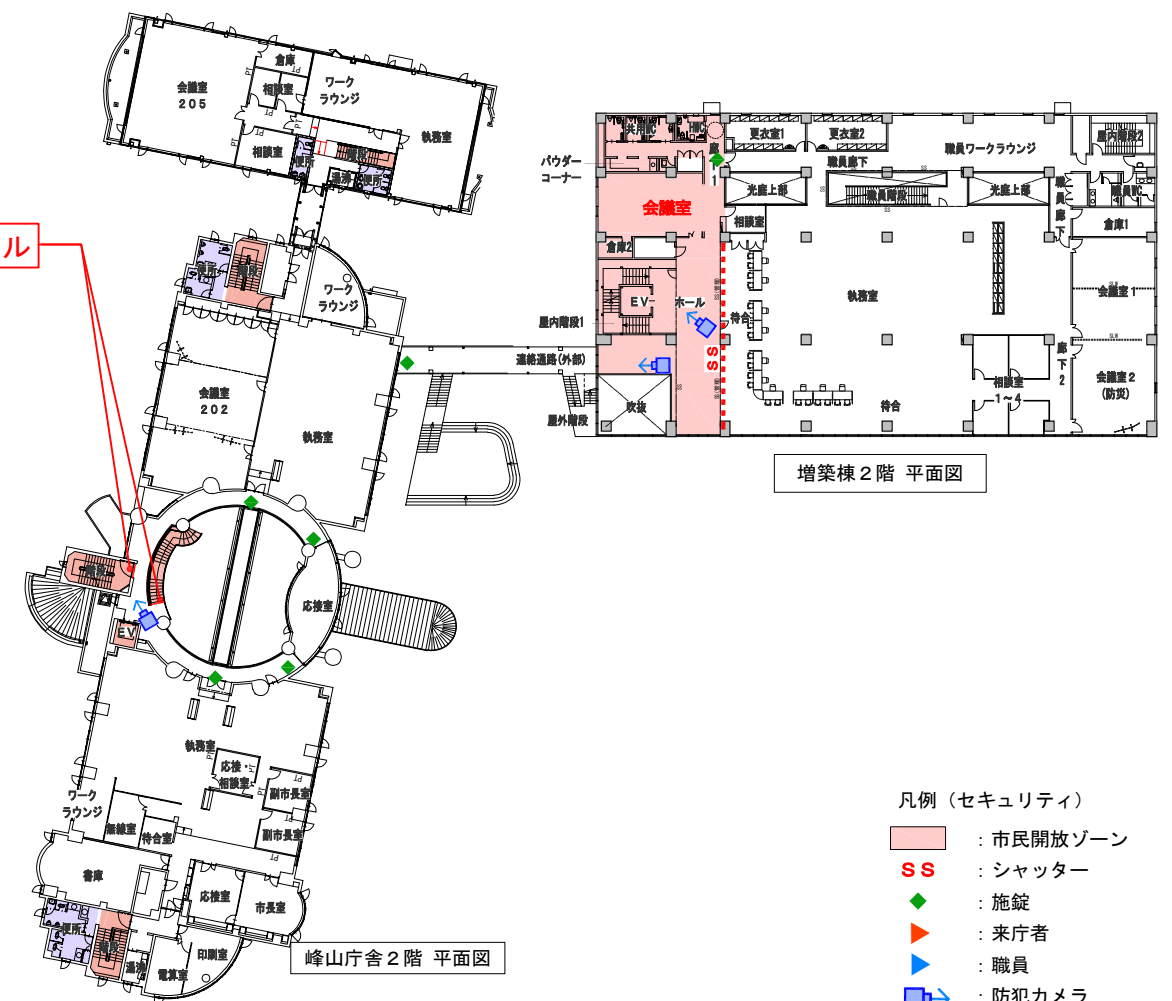
市民利用は1階のみとする（2・3階をポール等で立入禁止、エレベーターに使用停止）。



増築棟3階 平面図



峰山庁舎1階 平面図



増築棟2階 平面図

峰山庁舎2階 平面図

凡例（セキュリティ）

- 市民開放ゾーン
- SS : シャッター
- 施錠
- 来庁者
- 職員
- 防犯カメラ

2. 建築意匠計画

1 3. ICT計画

SCALE 1:600

■基本的な考え方

次に掲げることにより留意しICTを計画する。

・住民サービスの向上や庁内環境、安心・安全の分野においてICTを導入すること。

■住民サービスの向上

・窓口

①音声案内モニターを導入する。

②手続きの際に、来庁者の移動が少ないようにするため、ワンストップ窓口とする。

・ワーケーション拠点

③増築棟には、市民がICT技術に触れられるように、リモート会議スペースを整備し、ワーケーション拠点を整備する。

④情報発信コーナーには、デジタルサイネージを設け、京丹後市の歴史・文化を表示する。

■庁内環境

・議会エリア

⑤議場（峰山庁舎3階）には、電子採決システム、モニター、マイク（スタンド式ワイヤレス）、映像放映設備を設ける。

・会議室

⑥モニター・インターネット環境を整備する（他の庁舎の部署との打合せが可能）。

⑦ペーパーレス化としてタブレットを使用したミーティング等の環境を整備する。

■安心・安全

・防災対策本部

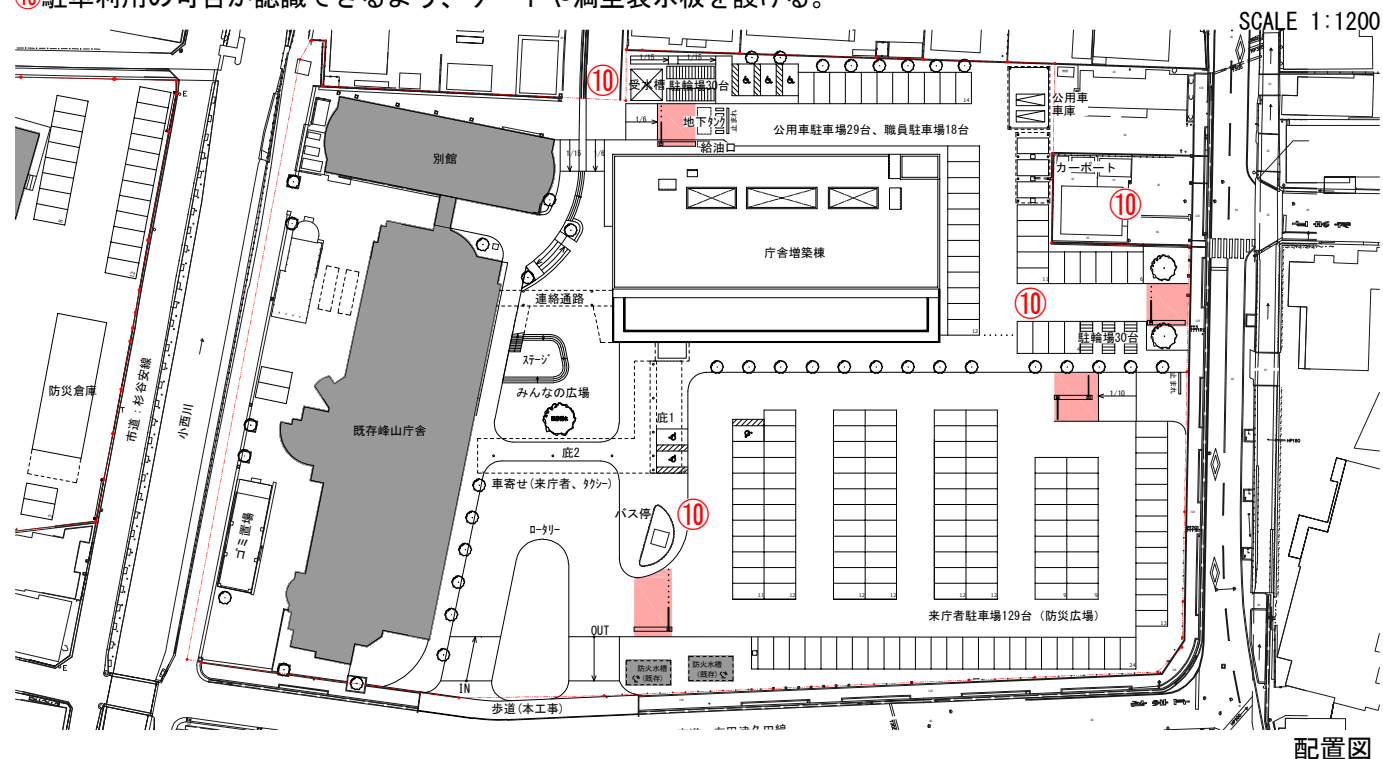
⑧映像表示システムや防災情報システムなどを整備する（災害対策本部の円滑な運営）。

・セキュリティ

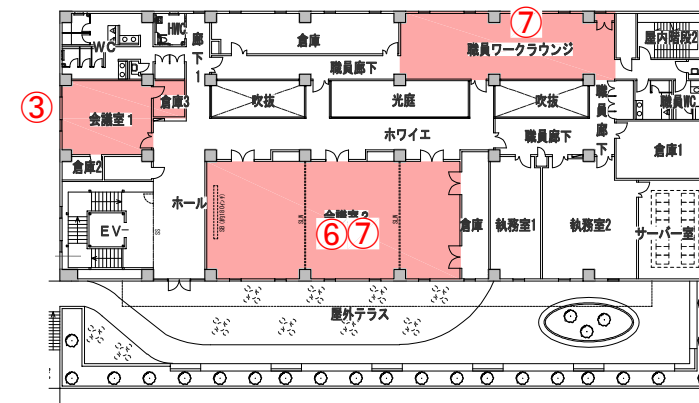
⑨ICTによる入退室管理や防犯カメラなどを整備する

・来庁者駐車場

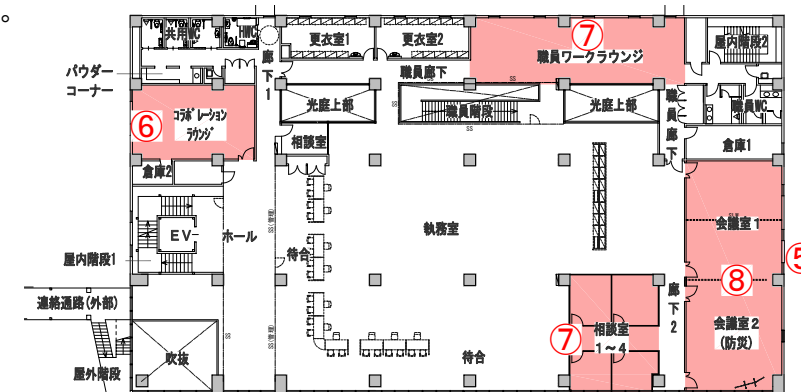
⑩駐車利用の可否が認識できるよう、ゲートや満空表示板を設ける。



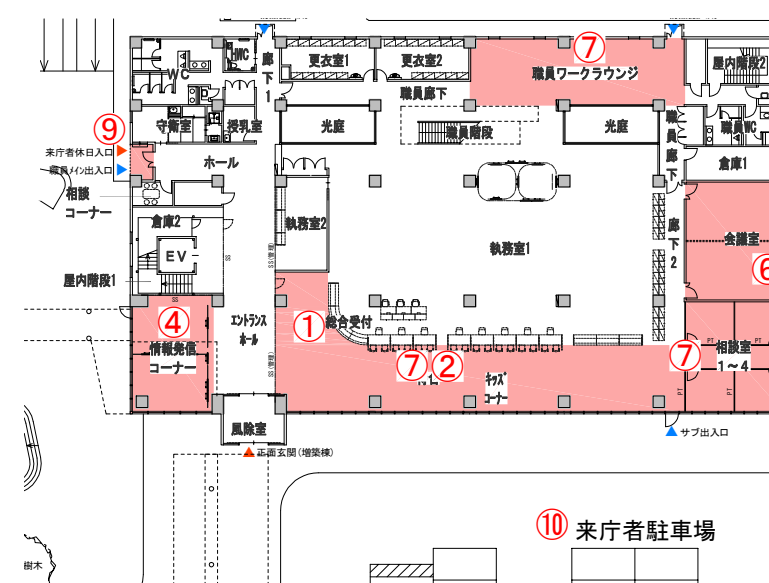
配置図



3階 平面図



2階 平面図



1階 平面図



①音声案内モニター



③リモート会議スペース



④デジタルサイネージ



⑤リモート会議の環境整備



⑩駐車場ゲート

2. 建築意匠計画

1 4. 内装計画

■基本的な考え方

次に掲げることに留意し内装を計画する。

- ・京丹後の自然や文化、歴史などの特色を表す庁舎として市民に親しまれるシンプルで機能的なデザインとすること。
（仕上材（床・壁）やサイン）。
- ・来庁者や職員などにとって、優しさや温かみ、安心感、京丹後らしさを感じる空間とすること。
- ・視認性や快適性、安全性、兼ね備えた経済的で無駄のないものとする（汎用品等）。
- ・メンテナンス性、機能性、耐久性に優れたものであること（汚れにくい、防滑性に優れた仕上材等）。
- ・地域の林業など地域経済の活性化や、脱炭素化・温室効果ガス削減を図ること（府内産木材等）。
- ・職員ワークラウンジは、各階毎にテーマカラーを設定し、場所に特徴を持たすことで、職員の仕事の効率性や創造性を高める計画とすること。テーマカラーは京丹後市の自然をモチーフとする。
1階はブルー（海）、2階はグリーン（山）、3階はオレンジ（夕日）

■仕上げ材（共有部分）

項目		仕上げ・仕様	備考
共用部分	1階の床	防滑仕様のタイル	機能性とメンテナンス性
	2階の床	タイルカーペット	落ち着きのあるもの
	壁・天井	木材の利用 木視率30%~40%程度	心地よさを感じる空間
職員エリア	床	タイルカーペット	吸音性
		OAフロア	将来の改編や模様替え等への対応
職員ワークラウンジ	天井	岩綿吸音板	吸音性能
	床	木調塩ビタイル	メンテナンス性
		OAフロア	
	腰板	ヒノキ	心地よさを感じる空間



待合・執務室イメージ



職員ワークラウンジイメージ

2. 建築意匠計画

1 5. 外構計画

■基本的な考え方

次に掲げることに留意し外構を計画する。

- ・来庁者の円滑な誘導、安心・安全の確保、気軽な立ち寄り空間、既存植栽の活用、メンテナンス性などに配慮すること。

■屋外施設計画

・駐車場案内サイン

敷地周辺の曲がり角及び駐車場出入口に駐車場案内サインを設置する（来庁者をスムーズに誘導）。

・駐車場

大型バスや除雪車に対応できる高耐荷重アスファルト舗装とする。

・歩路

旧市道の記憶を継承するよう、歩道と同仕上げのインターロッキングを敷地内に連続させる。

小西川沿いのゆめサンサンロードからの人の流れを考慮し、動線上に歩道を整備する（連続性のある道）。

・ロータリー

高耐荷重カラーアスファルト舗装とする。

・みんなの広場

建物の浸水対策による地盤嵩上げの起伏を有効に活かした立体感のある空間とする。

広場の一部を耐荷重のある舗装とする（イベントや救急時に車が入り入れ）。

芝生やインターロッキングをバランスよく配置する（メンテナンス性のあるもの）。

・職員通路（増築棟外周部）

公用車駐車場、職員駐車場からの経路は、雨の日や雪の日でも滑りにくいコンクリート洗い出し舗装とする。

・その他

点字ブロックの設置や滑りにくい舗装材など誰でも安全で安心して利用できる舗装とする。

■植栽計画

・敷地内の樹木

可能な限り残置及び移植する計画とする。移植樹木は、来庁者駐車場の南側、西側に配置する。

移植は、適期である11月～3月に植樹する。

・シンボルツリー

既存峰山庁舎正面玄関前のケヤキは残置し、みんなの広場のシンボルツリーとする。

・ロータリー中央分離帯

色どり豊かな花壇として整備する。

・庁舎間のアプローチ部分

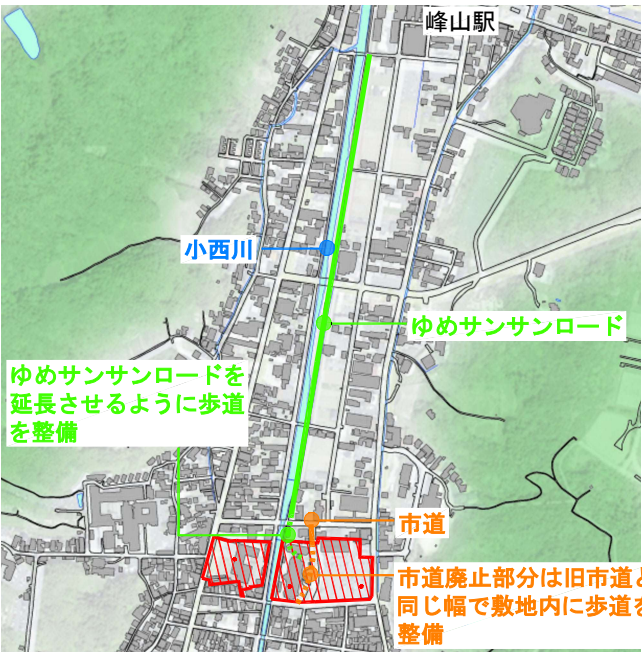
既存峰山庁舎と庁舎増築棟へのアプローチ部分には、常緑樹のクロガネモチを植樹する。

市民を迎え入れるアプローチ空間、夏の日差しを緩やかに遮るものとして計画とする。

・敷地東側外縁部

植樹帯を配置する。周辺住宅に配慮した緩やかに視線を遮る計画とする。

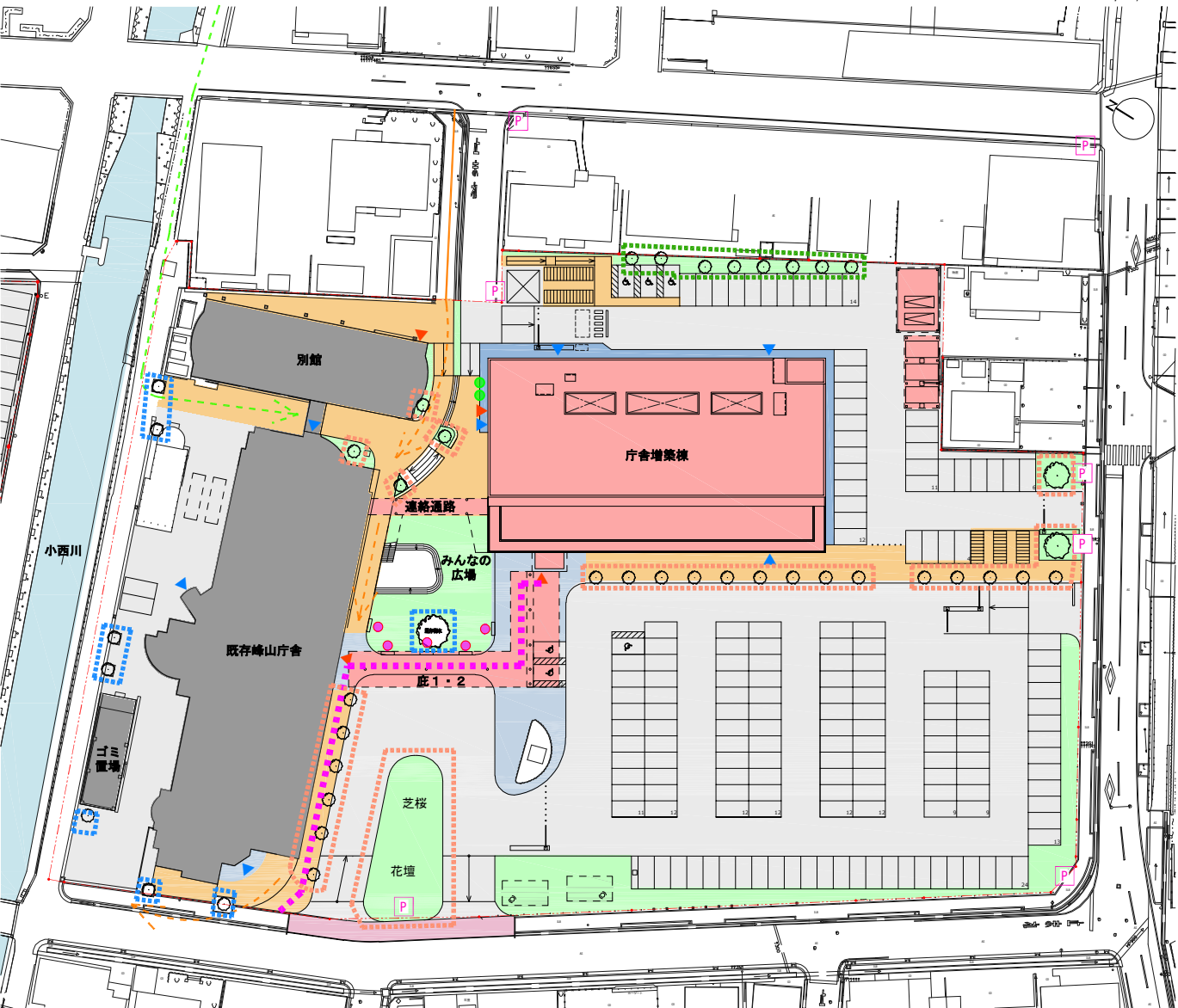
■付近見取図



■凡例

インターロッキング舗装	カマドベンチ
アスファルト舗装	マンホールトイレ
カラーアスファルト舗装	点字ブロック
タイル舗装	駐車場案内サイン
植栽	樹木（移植）
コンクリート洗い出し舗装	樹木（残置）
ゆめサンサンロード	樹木（新設）
市道	

■配置図



2. 建築意匠計画

1 5. 外構計画

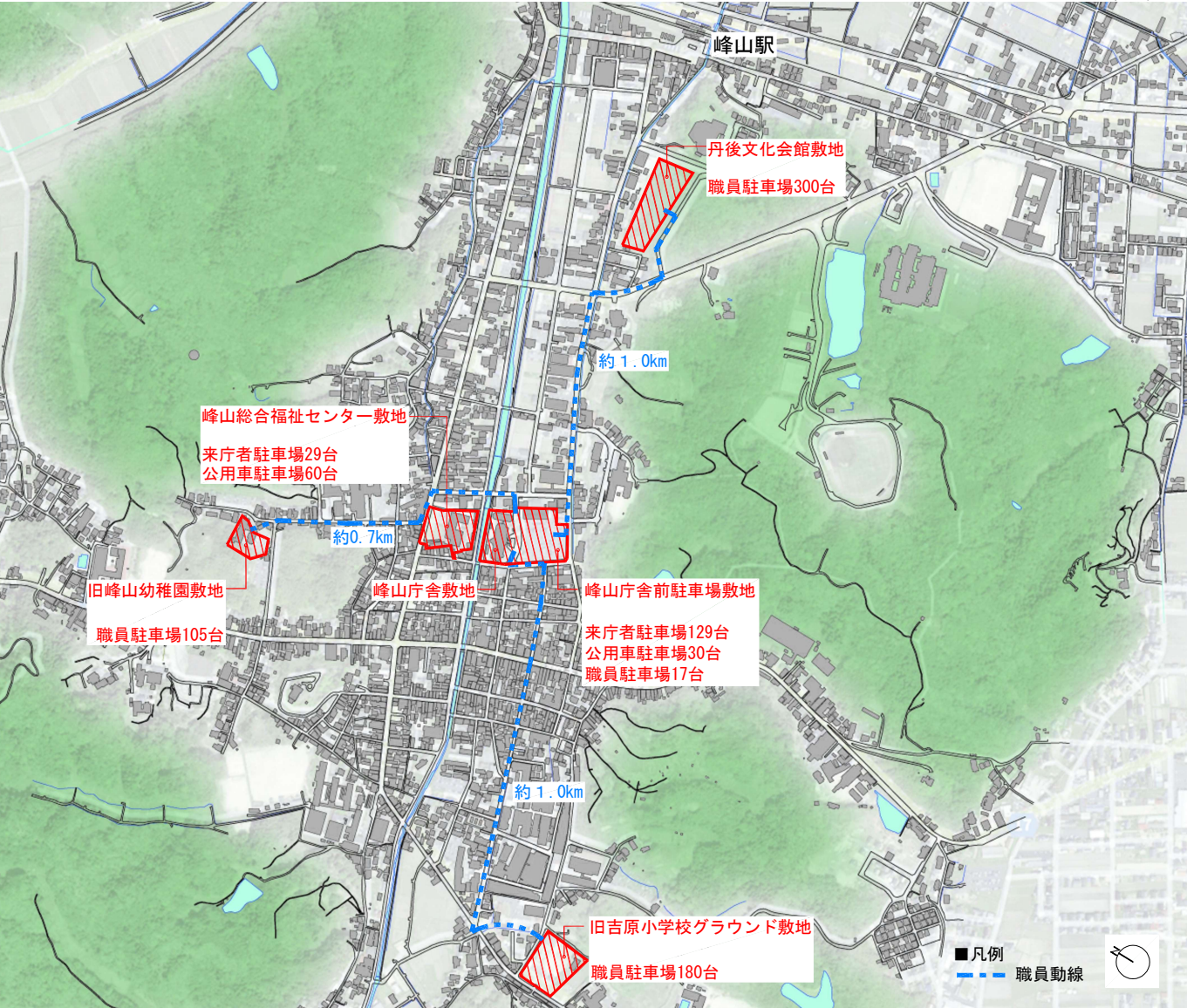
■駐車場計画

・基本計画に基づき、下記台数を確保する。

場所	種別	基本設計駐車場台数	
峰山総合福祉センター敷地	来庁者駐車場	29台	計 89台
	公用車駐車場	60台	
峰山庁舎前駐車場 (増築棟) 敷地	来庁者駐車場	129台	計 176台
	公用車駐車場	30台	
	職員駐車場	17台	
旧峰山幼稚園敷地	職員駐車場	105台	計 105台
	公用車駐車場	0台	
丹後文化会館敷地	職員駐車場	300台	計 300台
旧吉原小学校グラウンド敷地	職員駐車場	180台	計 180台

計画台数合計			
来庁者駐車場		158台	計 850台
公用車駐車場		90台	
職員駐車場		602台	

付近見取図



・庁舎前の来庁者駐車場は、有料化についても検討する。

